

7月20日（月）

「海の日」 青島は家族連れでにぎわう



7月20日は「海の日」です。連休最終日です。宮崎市の青島海水浴場は多くの海水浴客でにぎわっていました。

（加藤 AN）「天気もよくて、潮風も気持ちいい青島。海の日のはきは皆さん、海水浴を楽しんでいますよ！どうですか？」

（海水浴客）「最高です！！！」

8つの観測地点で最高気温が35度を超えた20日の県内。絶好の海日和となり、青島は多くの人でにぎわいました。

（小林市から親子3人組）「海の日ということで、いい天気で」「（子どもが）歩けるようになったので、いいかなと思って」

（加藤 AN・どんな様子でした、初めての海は）「楽しそうだったね」

（帰省客・愛知県）（加藤 AN・きょうは何楽しみたいですか）「泳ぐのと、波に浮くこと」

砂だらけで遊ぶ子どもも。

（加藤 AN）「海どうですか？」（泥だけの子・グッドポーズ）

子ども 2 人と一緒に来たお父さんは…。

（宮崎市から親子 3 人）「こっちは海に入りたいと言って、こっちは貝殻探したいって言って」

（高校生 4 人組）「青島の海どうですか？」「最高です！！！」

レジャーの多様化や暑さなどの影響で全国的に「海水浴離れ」の傾向がみられる中、青島海水浴場は今シーズンも例年並みの人出となっていて、特に家族連れが多いということです。

（青島ビーチセンター渚の交番・小玉順規センター長）「安心安全がこの海水浴場の特色なので、それで家族連れがやってきているのかなと思います」

今シーズン、青島海水浴場では熱中症対策を強化。

正午と午後 3 時の 1 日 2 回、15 分ほどの休憩時間を設け、水分補給のため海から上がるよう来場者に呼びかけています。

また、渚の交番内には冷房の効いた休憩所も。

（加藤 AN）「涼しい！エアコンが効いていますね」

宮崎県内のあすの最高気温はきょうと同じくらいか低いところが多い予想で引き続き、熱中症に注意が必要です。